



# ともの 友野 まさよ さん



おうち収入アドバイザー／  
株式会社ワールドエクスポート代表取締役  
(富士河口湖町)

今回は、「わたらしい両立」を目的としておうちで収入を得ること、家庭との両立の仕方など、ライフスタイルに合わせて働くための情報提供をしている「おうち収入アドバイザー／株式会社ワールドエクスポート代表取締役」の友野まさよ さんにお話をうかがいました。

友野さんが家で仕事を始めるにいたった動機について教えてくださいませんか。

**友野** 女性が起業する場合、強い思いなど何かしらのキッカケがあると思いますが、私の場合は外勤が難しかったから、という理由です。

1人目の出産を機に退職し、その後しばらくしてパートに出ようとしたのですが、ハローワークや面接に行くにも子どもの預け先がない。でも、保育園に預けるにはすでに働いていないとならない。並行しての就職活動と保育園探しに大きな壁を感じました。それに、もし今後2人目ができたら、せっかく保育園や仕事が見つかってまた振り出しに戻ってしまうのではという不安もありました。

そこで、外勤が難しいのなら家で子どもをみながらネットで仕事ができないか、とやり方を調べ始めたのがキッカケです。

探し始めた当初はどんな感じでしたか。

**友野** ネットで「家で 主婦 仕事」などのキーワードで検索すると、9割は怪しい情報が出てきました。教えてくれる人も相談できる人も周りにいなかったの、子どもが寝てから每晚ネットで調べました。そんな時に「在宅ワーク」という働き方を知りました。在宅ワークは商品の事をブログに書いて紹介したり、事務代行・ハガキなどの代筆・お客様サポートのメール対応など色々あります。わたしも子どもを連れスパーの覆面調査をしたりもしました。他にも取り組んでみましたが月5千円程にしかなりませんでした。そんな時にネット上で「物販」をしている子育て中の女性がいる事を知り、すぐにその方が都内で開催されていた講座へ申し込み、会い

に行きました。在宅ワークには限界を感じていたの、私も物を仕入れてネット上で販売する物販の道に進むことを決めました。

会社設立のきっかけについて教えてくださいませんか。

**友野** わたしが会社を設立することになるなんて思いもしませんでした。ブランド品などの物販を始めてからは月5万円程の利益が出ていましたが、将来を考えたときに、扶養範囲を越えて収入を得ながら家で2人目を育てられたら、と思うようになりました。そしてそれまでに得た利益でネット物販ビジネススクールに入りました。半年後、スクールを卒業するときには売上は月200万円以上、月の利益も50万を越えました。ただ、自分の持つ時間や労力をほぼすべて物販に集中していたので、家の中はおもちゃや洗濯物が散乱、ご飯もまともに作れない状態。夫婦関係が変わったのもこの辺りです。こんな状態の家で夫はどうしたかという、会社から早く帰ってきてご飯を作ってくれたり、週末は子どもと積極的に遊ぶようになりました。わたしが物販という道を本気で歩んだことで、夫はイクメン、カジダンになりサポートしてくれました。ご飯も自分で炊けなかった夫が、です。

その後、確定申告を担当してくれた税理士さんに会社にした方がメリットがあるのではと提案を頂き、会社を設立することになりました。設立の際には夫も脱サラし、それからは夫婦で物販に取り組んでいます。また、「わたしも家で仕事をしたい」という相談も増えたため、おうち収入アドバイザーとしてのコンサルティング業も会社を設立した後に始めました。



友野まさよ さん

問題や課題などについてありましたら教えていただけますか。

**友野** ネットで海外のショッピングサイトにて販売をしているのですが、時代の変化が早い上に世界の常識で動かなければなりません。その辺りに柔軟に対応していく姿勢が大事だと考えています。例えばサイトの決済ルールが変われば、もしかしたら仮想通貨決済が入ってくるかもしれません。おそらく日本国内より早いでしょう。海外のサイト内に店を開き、売場を提供してもらっていますので、そのルールが変わったらそのルールに従わなければなりません。3年、5年後がどう変化していくのかを見据えながら動くようにしています。また、信用できる情報や共に成長できる仲間を得るには、どんなコミュニティでどんな人と関わっていくかも大切です。今何が必要で、いらないものは何か知ること。今はネットのおかげで様々な場所、様々な価値観、様々な生き方の人と繋がる事ができますから、どんな繋がりにも身をまかせたいかを意識するようにしています。



そして、夫婦間のパートナーシップも大切な課題だと思っています。夫婦それぞれが子育てや家事に関わる割合、収入面などがわたしが稼ぐことで急変し、これまでと同じでは上手く行かない事も増えました。ですが、夫も共に家で仕事をするようになり、子どものこと以外の会話も圧倒的に増えたことで、話し合ったりお互いへの感謝を意識でき、より良い状態になってきたのではと思っています。子どももいつかは独立するでしょうし、親である私たちも歳をとります。これからも、夫婦関係のあり方は課題として楽しく取り組んでいきたいと思っています。

これから何かを始めようとしている方にアドバイスなどあればお聞かせください。

**友野** 伝えたいことは2つです。いままで世間体や常識などで選択してきたことが多いと思いますが、時には自分がやりたい方を選んでみてもいいと思います。モヤモヤを抱えて一生を過ごすくらいなら、やってみるのが一番です。「時間がない、お金がない」と行動に移せないものですが、将来は

「時間がない、お金がない、健康がない」になります。「いつか〇〇になったら・・・」のいつかには、別の問題を抱えています。小さな一歩でいい。「今」やってみてください。

もう1つは、お金に対するイメージを前向きにすること。お金を頂くことに対して申し訳ないどこかで感じていると、不安からクレーマーも引き寄せます。そしてさらに不安になり、売値を安くしてしまう。利益にもなりません。自信をなくし、さらにお金に対してタブーになり、お客様からお金を頂くことに申し訳なさを感じ・・・と負のスパイラルに入ってしまう。価値を提供し対価としてお金を頂くやりがいのある道を、お金の縛られたいばらの道にしたくなければ、「起業」つまり利益を得る事に対してフタをせず前向きに引き合ってほしいと思います。やりたい事を選んで今やってみること、経済活動と向き合うこと、これにはまず「やりたい事を選んでいる人たちに出会うこと、楽しく感謝してお金と向き合っている人たちに触れること」です。昔から、朱に交われば赤くなると言いますから、どんなコミュニティでどんな人と関わっていくかを選び、決めることは非常に大切な第一歩になると思っています。

最後になりましたが、今後の目標や展望などをお聞かせ下さい。

**友野** 今後も意識していくのは、移り変わりの早いネットの世界で成果を出し続けることです。また、起業や物販を目指す方のバックアップも今後も続けていきたいと思っています。そのためには、自身のスキルアップや向上心を持ってこれからも進んでいこうと思っています。

これからの子どもたちは、いろいろな仕事の選択肢が増える意味自由ですが、自分が何をしたいのか、自分の幸せは何か、を知っていないと情報が溢れる社会で翻弄されてしまうでしょう。この多様性の時代、「これが幸せ、成功の人生」というひな形がありません。子どもたちには、その時代の中で自分で自分を幸せにできる人になってほしいと思っています。そのためには、まず親であるわたしが背中をみせること。わたらしい両立にこれからも楽しく取り組み、背中をみせていきたいです。

15年後位には別の場所へ移住もいいなと考えています。夫は釣りが好きなので釣りが出来る所がいいと言っています。

友野さんは「パソコンとネットがあれば、どこへ行っても仕事は可能なので」と、自分たちの近未来についても話しをしていただきました。ありがとうございました。

おうち収入アドバイザーHP  
<https://ouchi-shunyu.com/>

